

■正誤表

「8 ヲ年全問題収録給水工事試験完全解答 改訂 5 版」(平成 29 年 4 月 21 日 第 1 刷) ISBN : 978-4-274-50661-1

訂正箇所	誤	正
P205 問題 35 解説 (H25 年度)	全損失水頭は①と③を加えたものに等しいから、 $20+10=30$ [m] 給水管の摩擦損失水頭は、全損失水頭から④と高低差を差し引いたものであるから $30-25-3=2$ [m] 管路長は、図 1 より $20+3=23$ [m] したがって動水勾配は、 $2/23 \times 1\,000 \div 87$ [%] 使用水量を 1 秒当りに換算すると、 36 [l /分] =0.6 [l /秒] 給水管口径は、図-2 より、流量 0.6[l/秒]と動水勾配 87[%]の交点の D の値で、25mm が最も近い.	全損失水頭は①から③の余裕水頭と高低差 3mを引いたものに等しいから、 $20-(10+3)=7$ 管路長は、図 1 より $20+3=23$ [m] また、④より A～B 管の直管換算長は 25mなので、総管路長は $23+25=48$ [m] したがって動水勾配は、 $7/48 \times 1\,000 \div 146$ [%] 使用水量を 1 秒当りに換算すると、 36 [l /分] =0.6 [l /秒] 給水管口径は、図-2 より、流量 0.6[l/秒]と動水勾配 146[%]の交点の D の値で、25mm が最も適切.

平成 29 年 10 月 13 日、オーム社